

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ガンゼ株式会社（証券コード：3002）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1
（発行限度額変更：300億円 → 400億円）	

■格付事由

- 各種機能製品、インナーウェアの国内大手メーカー。製糸業を起点に、機能ソリューション事業（プラスチックフィルム、エンジニアリングプラスチック、電子部品など）、メディカル事業（組織補強材などの医療機器）、アパレル事業（インナーウェア、レグウェアなど）、ライフクリエイティブ事業（工場跡地を活用したショッピングセンター運営など）を手掛ける。事業ポートフォリオの変革に向けて、メディカル事業の基盤強化の他、アパレル事業の生産拠点の再編や不採算であった電子部品事業の事業譲渡などを行っている。
- 利益水準の底上げが進みつつある。機能ソリューション事業では市況低迷の影響を受けつつも収益源の分散効果を背景に底堅く利益を創出している。また、アパレル事業では高付加価値商品の拡販や事業構造改革の効果が発現している。広範な顧客基盤や高い製品競争力が損なわれる懸念は小さく、当面も業績は堅調に推移していくと予想される。財務構成は良好である。積極的な成長投資および株主還元の実現化を図っているものの、キャッシュフロー創出力などからみて財務健全性が大きく崩れる可能性は低い。以上より格付は据え置き、見通しは安定的とした。
- 25/3期会社計画では営業利益90億円（前期比32.8%増）と4期連続の増益を予想する。消費低迷により在庫調整が続いていたプラスチックフィルムの需要回復が業績を牽引する。また、メディカル事業での癒着防止材の販売伸長、アパレル事業での差異化商品の拡販などもプラス要因となる見通し。今後の収益力強化に向けて、メディカル事業では増産体制の整備が進められている他、アパレル事業ではコスト競争力強化に向けたオートメーション化などにも着手していく方針。これら施策の進捗や事業面の効果を確認していく。
- 25/3期第1四半期末の自己資本比率は71.9%（24/3期末73.2%）であるなど、財務構成は良好である。中期経営計画（23/3期～25/3期）では総還元性向を100%としているほか、成長事業などへの積極的な投資が掲げられている。これらに伴い、当面は利益蓄積による自己資本の増加が見込みづらいため、有利子負債の増加も予想される。ただ、自己資本比率60～70%を維持する方針であるなど堅実な財務運営に変更はなく、当面、財務リスクが高まる懸念は小さいと考えられる。

（担当）藤田 剛志・金井 舞

■格付対象

発行体：ガンゼ株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	400億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年10月21日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) グンゼ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル